



# すいた市議会だより

No. 334

## 決算号

編集：議会広報委員会 発行：吹田市議会 ©吹田市泉町1丁目3番40号 ©直通電話06(6384)2663/FAX06(6338)0920

市議会のホームページは [吹田市議会](https://www.city.suita.osaka.jp/shigikai/index.html) [検索](#) (<https://www.city.suita.osaka.jp/shigikai/index.html>)



議場での決算常任委員会の様子

## 令和4年(2022年)度 一般会計・特別会計決算を認定

令和4年(2022年)度の一般会計の決算は、歳入歳出差引額(形式収支)では30億5738万円の収入超過で、ここから翌年度への繰越金17億

3748万円を差し引いた実質収支は13億1990万円の黒字です。また、当該年度の実質収支から前年度の実質収支25億9330万円を差し引いた単年度収支は12億7340万円の赤字です。

市議会では、9月定例会終了後の閉会中に、一般会計および8特別会計の決算を決算常任委員会へ審査し、11月定例会の初日にそれぞれ認定しました。(議決結果および賛否一覧表は、3月1日発行の11月定例会号に掲載予定)

なお、決算常任委員会から、分科会の審査を踏まえて取りまとめた4項目について、市に提言をしました。(提言の内容は5面に掲載)

今回の決算号では、その審査の一部をお伝えします。なお、詳細な内容は、本会議録や委員会記録(市役所の市民総務室(情報公開)、図書館等に備えています。)をご覧ください。また、市議会のホームページの会議録検索システムでも、本会議録や委員会記録の検索、閲覧ができます。

### ～決算常任委員会の委員構成について～

決算常任委員会は、29人の委員で構成しています。(委員長は西岡友和議員、副委員長は井口直美議員)

なお、野田泰弘議員、白石透副議長のほか、前任の監査委員である橋本潤議員、現在の監査委員である益田洋平議員、高村将敏議員については、委員会条例の規定により委員に就任していません。

財政総務分科会 西岡 友和 分科会委員長

大阪維新の会 乾 詮

適切な予算編成の実施を

問 決算書を見ると流用や不用額等が多く、市民に必要な他の事業に予算を充てることのできるのではないかと疑問を抱く。今後は適切に精査した予算編成をすべきでないか。  
答 指摘の疑問を抱かれてもやむをえない状況であるため、今後は予算の精査等をさらに徹底して行っていく。

自民党 泉井 智弘

防災訓練の内容見直しを

問 地域防災総合訓練の土のうでの水防訓練は、災害時に砂等の確保が困難で現実的ではない。実際の災害対応に沿った内容に見直してはどうか。  
答 土のうでの水防技術は集合住宅や商店街での使用例もあり、一定有意義だと考える。  
答 実際の災害時での水防工法の妥当性を検討している。

日本共産党 竹村 博之

管理職の女性比率向上を

問 職員の女性比率は、全体で4割を超えているが、管理職は25%程度にとどまっている。女性職員が管理職になっても働き続けられるよう、労働環境の整備が必要でないか。  
答 残業が増える懸念から、昇格を望まない女性職員はいるが、男女問わず働いた結果で評価する環境を整えていく。

吹田 党 後藤 恭平

職員団体との協定の把握

問 各部署や教育委員会が職員団体と締結する協定を、人事室は取りまとめ役として全容を把握すべきではないか。  
答 部局ごとに事務権限を有し個別に定める場合や、教職員の労務管理等は大阪府の管轄であるため、全容把握が難しい。今後は各部署等の協定について、一定把握に努める。

文教市民分科会 有澤 由真 分科会委員長

大阪維新の会 後藤久美子

商工振興事業の効果は

問 商工振興事業の決算額が前年度比で約9億円増加している。その増加により、中小企業の活性化支援や企業誘致の推進等に効果はあったのか。  
答 指摘の施策に係る補助金等の事業費に大きな増減はなく、増額の主な要因は、キャンセル決済ポイント還元事業の実施等によるものである。

自民党 澤田 直己

岸部地域の施設の活用を

問 光のひろばやその周辺施設等の有効活用を過去に提案した。市長にも活用案があるようだが、地域との意見交換や調査等、現在の進捗を問う。  
答 副市長 当該施設等が十分に活用されていないのは明らかだ。老朽化した施設の建て替えも含めて検討すべきで、ニーズの調査を指示している。

公明 党 小北 一美

各市民体育館に特色を

問 すべての市民体育館が均一の利用目的で柔軟性がないと感じる。各館に、市民ニーズに合った異なる特色を持たせるべきと考えるが見解を問う。  
答 各館の特色づけは、スポーツ推進計画策定等の中でも議論されている。市民に身近な施設であり続けながら、効果的な施設運営を検討する。

参政党 久保 直子

給食費の負担軽減対策を

問 給食の献立は現在3、4か月前から作成しているが、物価高騰による給食費の値上げ対策として、経済的な旬の食材を使用できるように献立の作成時期を遅らせてはどうか。  
答 食材はすべて事前に価格調査をしており、給食費の範囲でよりよい食材を選ぶには現状の作成期間が必要である。

健康福祉分科会 井口 直美 分科会委員長

大阪維新の会 清水 亮佑

子供食堂について

問 子供食堂は、子どもの貧困対策等で重要な役割を果たしているが、実際に利用した子どもの中で、貧困等の課題を発見した事例はあるのか。  
答 子どもの様子で気になったことがあれば、支援機関につなげるよう依頼しているが、実施団体から市にそのような相談があった事例はなかった。

日本共産党 山根 建人

生活保護担当ケースワーカーの確保を

問 本市の生活保護担当ケースワーカー(CW)数は、法定標準数を大幅に下回っている。物価高騰等の影響を受け、被保護世帯数の増加もある中、状況を改善すべきではないか。  
答 資格を持つ職員確保が難しいが、研修での資格取得を検討し、CWの確保に努める。

日本共産党 塩見みゆき

障害者相談支援事業の委託料について

問 市内6か所の相談支援センターの委託料は、各センターの相談件数との相関がない。委託料を決める基準を問う。  
答 委託開始時は配置人員に応じて委託料を設定していた。来年度に契約更新となるが、相談件数等の実績に応じた委託料となるよう検討している。

市民と歩む 梶川 文代

頻繁な人事異動の是正を

問 児童、福祉部局の職員は、国の制度変更のたびに従前制度等を理解した対応が求められる。3年程度の短期間でシヤッフルしているような人事異動は是正するべきでないか。  
答 副市長 一定経験ある職員が必要とは理解しているが、毎年多数いる異動希望者に対応しつつ十分に検討していく。

参政党 中西 勇太

がん検診の目的と効果

問 検診の目的を鑑みると、受診率の向上よりも受診結果を重要視すべきである。また、検診による誤診等のリスクもある中、過剰な表現による受診勧奨は慎むべきでないか。  
答 受診結果を踏まえて取り組みを進める。また、市民へ誤った印象を与えることのないよう表現方法には留意する。

議会の会議録の検索、閲覧ができます

本会議や委員会の会議録を公開しています。市議会のホームページ内にある会議録検索システムから、パソコン、スマートフォン等を使用し、会議録をご覧ください。



市議会のホームページ

また、市役所の市民総務室(情報公開)や図書館等にも会議録を備えています。

建設環境分科会 村口久美子 分科会委員長

大阪維新の会 川田 尚

市営住宅の管理について

問 令和4年度から市営住宅の管理は、指定管理者制度を導入している。現在の指定管理者が、選定時に評価された理由の一つに自主事業の開催があったが、当該年度に実施した自主事業の内容を問う。  
答 高齢単身者への見守り活動や軽作業サービスの提供等の自主事業を実施している。

大阪維新の会 今西 洋治

自転車大型化への対策は

問 電動自転車の普及により、自転車の大型化等が進んでいる。既存の駐輪場は利用者ニーズに対応できておらず、利便性が低下している。当該問題の対策として、市が令和4年度に実施したことはあるか。  
答 利用者が減少している原付き置き場を自転車置き場に振り替える等の対策を行った。

大阪維新の会 林 恭広

公園の魅力向上について

問 千里北公園の魅力向上に係るワークショップ参加者からは、途中での市の方針変更など、その運営に疑問の声が寄せられた。中の島公園の同様事業と比較し、委託金額に見合った成果は得られたのか。  
答 課題の解決に向けた進捗状況の差はあるが、多様な意見等を得られたと考えている。

日本共産党 柿原 真生

駐輪場の必要数の把握を

問 本市は自転車利用を推進する立場にあるが、JR岸辺駅など一部の駐輪場では長年にわたり供給不足が続いている。整備当初の必要台数の需要予測は見直しているのか。  
答 最新の需要予測を用いて整備した駐輪場もあるが、見直してきていない箇所もあり、その必要性は認識している。

公明党 井上真佐美

自転車通行空間の整備は

問 自転車通行空間の整備状況について、当初の計画どおりに進まなかった理由と、中間見直し後の目標を問う。  
答 他の交通安全施設等の整備もあわせて対応しており、事業費の確保が困難であった。令和8年度までに25kmの整備延長を目標に定め、現在、おむね計画どおりに進めている。

公明党 矢野伸一郎

基金運用の方針を見直せ

問 積立基金の管理は、最も確実かつ有利な方法で保管すべきだが、過去5年間で運用利子が生じていない基金について改善が必要ではないか。  
答 副市長 これまで低金利が続ぎ、積極的に運用しなかったが、近年の金利上昇を受け、適切に精査し、市全体でより有利な基金運用に取り組む。

自民党 藤木 栄亮

資源物持ち去りへの対策

**問** 資源物の持ち去りは条例で禁止されているが、市内で持ち去り業者を目撃することが多くある。見回りや市民への啓発を強化し、持ち去りの禁止を徹底すべきではないか。  
**答** 警察との合同パトロールを再開するとともに、他市や警察等と連携し、効果的な対応について取り組んでいく。

吹田党 石川 勝

適切な公園の維持管理を

**問** 市民協働による美化活動は、団体の高齢化で縮小している。市の除草計画を含め制度の見直しが必要と考えるが、令和4年度の検討状況を問う。  
**答** 市の除草は年2回、時期を工夫し取り組んでいる。団体活動の継続のため、負担となる除草活動を選択制にする等、制度の見直しを検討した。

総括質疑

大阪維新の会 江口礼四郎

著作権侵害への見解は

**問** 住民監査請求の監査結果において、本市の議員が作成し、市イメージキャラクターすいたんに酷似したものを登場させた動画が、著作権侵害と認定された。市は同結果をどのように受け止めているか。  
**答** 適切に利用管理ができておらず反省している。今後、同結果を精査し対応を検討する。

日本共産党 玉井美樹子

潜在的待機児童の対策を

**問** 4月1日時点の待機児童数ではなく、希望園に入れず育休を延長した場合等も含めた潜在的な待機児童数を考慮し、事業推進すべきでないか。  
**答** 転園希望者を除く保育利用予定者のニーズを含めた要保育率を基に、支援事業計画を作成し、計画に基づき必要なサービス提供に努めている。

公明党 浜川 剛

職員の勤務環境の改善を

**問** 長年にわたり、月100時間以上の時間外勤務が多数発生し、また、業務負担が一部の職員に偏っている。業務管理や人員配置が適正になされておらず、改善が必要ではないか。  
**答** 市長 職員の勤務環境の最適化に向けた改善の途上であり、引き続き、長時間勤務の是正や勤務体制の整備に努める。

市民と歩む議員の会 五十川有香

イベント等における合理的配慮の徹底について

**問** すいたフェスタでは合理的配慮が不十分だったと聞いた。市主催だけでなく、補助金交付対象のイベント等も合理的配慮を徹底すべきでないか。  
**答** 副市長 障がい者の参加が想定される際は、適切な合理的配慮を提供するよう対応要領の周知と方策検討に努める。

令和6年(2024年)2月定例会日程(案)

2月定例会を2月16日(金)から3月22日(金)までの会期で開催する予定です。なお、以下の日程以外にも委員会等を開催する場合があります。本会議、常任委員会は、原則、10時開会予定でいずれも公開しています。  
※本会議での保育付き傍聴(2月16日の提案説明を除く)や手話通訳の派遣を実施していますので、希望される方は、事前に議会事務局(電話06-6384-2644 FAX06-6338-0920)までご連絡ください。

2月16日(金)	本会議(提案説明)	3月 5日(火)	予算常任委員会財政総務分科会(質疑)
26日(月)	本会議(質問)		予算常任委員会文教市民分科会(質疑)
27日(火)	本会議(質問)	6日(水)	予算常任委員会健康福祉分科会(質疑)
28日(水)	本会議(質問)		予算常任委員会建設環境分科会(質疑)
29日(木)	本会議(質問)	7日(木)	予算常任委員会健康福祉分科会(質疑)
	予算常任委員会(提案説明、資料要求)		予算常任委員会建設環境分科会(質疑)
	4 常任委員会(提案説明、資料要求)	15日(金)	予算常任委員会(総括質疑、討論・採決)
3月 1日(金)	4 常任委員会(質疑、討論・採決)	22日(金)	本会議(討論・採決)
4日(月)	予算常任委員会財政総務分科会(質疑)		
	予算常任委員会文教市民分科会(質疑)		

※本会議の各質問日の質問者・項目を事前に市議会ホームページに掲載しています。

# 決算常任委員会から市に対する提言

令和4年(2022年)度の一般会計、特別会計の決算に関する事項について、分科会ごとに審査を行い、その内容を踏まえ、委員会として以下の提言(意見や考え)を取りまとめ、11月6日に市長に提出しました。

## 1 自治会への加入促進等について

地域自治会は、市の持続的な発展と市民の絆を深めるための大きな役割を果たしている。しかしながら、近年の自治会加入率の低下は顕著であり、役員などのなり手不足についても深刻な問題となっている。

よって、市として自治会活動のさまざまな負担軽減を図ること、また大学生ボランティアサークルとのマッチングなど、若い世代との世代間交流を行うことにより、自治会活動を活性化し、より良い地域コミュニティが形成されるよう、積極的な支援策に取り組まれない。

## 2 すいたフェスタ、シティープロモーション推進のイベントの補助について

すいたフェスタは、市への愛着と誇りの醸成を目的とするシティープロモーションの中核となる一大イベントであり、多くの市民が参加する貴重な機会でもある。しかしながら、同フェスタの前身である吹田まつりと比較して、参加者数は3分の1程度にとどまっているだけでなく、参加団体も減少し、参加者の年齢層や居住地域の偏りも生じており、加えて、猛暑の時期の開催による負の影響も大きい。

これらの課題を踏まえ、補助している市として、同フェスタの意義を再検討し、抜本的な改善と、ほかのシティープロモーション推進に係るイベントの補助との整合を図るよう取り組まれない。また、これらの補助それぞれを議会での確に審議できるよう提案に工夫されたい。



すいたフェスタの様子

(文教市民分科会)

## 3 保育・介護等の人材確保について

近年、少子高齢化の進行等に伴い、各分野での人材不足が全国的な問題となっており、とりわけ保育・介護・障がい福祉現場での人材確保が大きな課題である。これらの分野は、社会的に弱い立場の児童、要介護者を支える尊い仕事であるにもかかわらず、重労働、低賃金で人材不足に拍車を掛けている。

本市においても十分な支援策が実施されているとは言えず、子どもたちへのより良い成長の機会の提供および高齢者・障がい者の健やかな生活の維持のため、早急に人材を確保するための施策を講じる必要がある。

よって、労働等に見合う賃金の改善を国に求めるとともに、十分な人材確保策に早急に取り組まれない。

(健康福祉分科会)

## 4 都市公園および遊園の適切な維持管理について

都市公園および遊園は、市民に身近な憩いの場であり、子どもの遊び場、自然に親しむ場など、多用途な公共スペースである。よって、除草やせんてい等、適切な維持管理を図り、良好な環境となるよう努められたい。



市内の公園

(建設環境分科会)